

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビー松戸駅西口教室		
○保護者評価実施期間	2025年7月25日		2025年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2025年7月23日		2025年7月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年9月8日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援について、肯定的な保護者様のコメントが多かった。	・支援後に職員間で話し合いや相談を行っている。	・職員全員で共通認識が持てるよう、ケース会議を開催する。 ・送迎してくださる保護者様のために、より療育の必要性や有効性を感じていただけるよう支援を行う。
2	・家族支援について、肯定的な保護者様のコメントが多かった。	・保護者会や定期的な面談のほか、動画家族支援を行っている。	・保護者様同士の交流の機会を設けていく。 ・フィードバックだけでなく、支援裏で家族支援の時間が持てることを伝えていく。
3	・90分支援の【SSTと生活スキル】【感覚あそびと自由あそび】【入学準備】【感覚統合】など特化したクラスを設けている。	・各クラスを担当制にしている。計画的にプログラムを考案し、教室全体で周知とブラッシュアップを行っている。	・次年度の時間割作成を機に、90分支援増設の検討とともに、プログラムの見直しを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・運動系のプログラムを行う場合、支援室が狭い。	・物理的に使える面積が限られている。	・くもの部屋で親子同室での運動イベントを行う際は、上限を5人とする(その他のイベントで、イスなしで行う場合は定員10人)。 ・上記の人数を上回る場合は、部屋を分けたり、廊下も使うなど工夫を行う。 ・他に場所を借りて行う。
2	・保護者様の意見の中に、集団支援の際、開始が遅れるという指摘があった。	・実際お子さまがある程度揃うのを5分程度待つ場合が多々ある。	・全員揃わなくても支援を開始する。インタビューや、会話などで言葉のやり取りの支援ができる。
3	・保護者様の意見の中に、振替の促しが負担に感じるというコメントがあった。	・過剰に連絡をしている訳ではないが、欠席が多い場合にはその分連絡の回数も増える。	・次年度の時間割アンケートを取る際、利用可能な時間帯や、連絡が取りやすい時間帯のヒアリングを行う。今後契約の際に同様のアンケートを実施する。